

日本創傷治癒学会 財務の課題とご協力をお願い

財務委員会担当理事 熊谷 憲夫
聖マリアンナ医科大学形成外科 教授

今期より新たに日本創傷学会財務担当理事ならびに委員長を仰せつかりました。このような重責に任ぜられ、その職の重さを痛感いたしますとともに、今後とも学会のさらなる発展を目指しお役に立てればと考えております。

さて、本学会における財務委員会の課題といたしましては、安定した財政確保、健全財政に取り組んでいくことが急務となっております。言うまでもなく、学会財政運営の基盤は、会員の皆様から集められました年会費が基になります。平成21年3月現在の会員状況では、正会員（評議員72名を含む）465名、準会員55名、名誉会員28名、特別会員28名、賛助会員19口という構成になっています。平成20年度の決算書では会費収入は正会員（1万円）333万円（85%）、評議員（2万円）136万円（94%）、準会員（5千円）7万円（26%）、総計476万円、会費の納入率84%という状況です。まずは、学会運営の基盤となる正会員および準会員の会費の納入率を高めることが急務といえます。一方、賛助会員費（10万円）30万円（16%）、WRR広告費（450万円）を含めた企業関係からの収入金額が480万円であり、収入合計は956万円でありました。これからみますと、当学会の財政上の特徴として、北島政樹前理事長のご尽力の賜により、全収入の5割強を企業からご援助いただいている状況です。今後は、このような個人のご負担を軽減するように全学会員が心掛けなければなりません。

一方、平成20年度の支出をみますと、予算額が1,055万円、決算額が約498万円となっています。諸事情により決算額にはWRR購読料が含まれておらず、年間購読料（350万円）を入れますと約848万円で、約100万円強の黒字となります。ただこの数値も委員会活動費等を含め、当学会運営費が今年度は予算額に比べ約150万円程度低くすんだからかもしれません。

現在、当学会には約2,660万円の繰り越し金があります。この規模の学会としては比較的潤沢な基金を有しているものと考えますが、先程も述べ



NEWS
LETTER

日本創傷治癒学会

2009.6
No.51

●日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学医学部外科学教室内

tel. 03-3353-1211

(内線62269)

fax.03-3353-2681

e-mail: info@jswh.com

URL: <http://www.jswh.com>

ましたように会計に占める企業からの収入の割合が大きく、今後の経済状況を考えますと企業収入が減少する恐れもあります。そこで、これからの対策としては、年会費の見直しが不可欠となります。また、評議員数についても検討する必要があります。特にWRR誌の購読の有無で会費を分けるなどの案もあります。実情ではWRR誌500部の購入費が年間350万円で正会員の会費収入(333万円)の全てがWRR誌の購読料の支払いに充てられています。当然、会員からの年会費だけでは当学会の運営がまかなえません。ただ、当学会はWRR誌の共同発行という形をとっているため、購読数を減らすことは難しく、今後購読料を加味した年会費の増額なども検討していく必要があると思います。同時に会員数をさらに増やす努力は必要です。因に、WRR誌

が配布される正会員の会費が1万円で、WRR誌が配布されない準会員費が5,000円の設定は公平ではないように思えます。

いずれにしても、当学会財務の企業への依存度は大きく、今後とも会員の皆様方から積極的に協賛企業に引き続いてのご協力を賜るよう働きかけていく必要があります。また新規分野の企業の開拓も必要かと存じます。さらに、将来的には他の学会のように、法人化および学会支援センター等への移転などを含めた学会事務局のあり方についても検討していく必要があるかと存じます。

会員諸氏におかれましてもご協力の程お願い申し上げます。



第39回 日本創傷治療学会のご案内(第2次)

会 期：平成21年12月8日(火)～9日(水)

会 場：都市センターホテル(東京都千代田区平河町2-4-1 TEL 03-3265-8211)

会 長：徳永 昭(日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター教授)

◇特別講演(予定)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 岡野栄之(慶應義塾大学) | 患者ips細胞を用いた再生医療 |
| 2. 浅原孝之(東海大学) | EPC細胞を用いた再生医療 |
| 3. 上田実(名古屋大学) | 体性幹細胞を用いた再生医療 |
| 4. 沢 芳樹(大阪大学) | 重症心不全に対する再生医療 |

◇招請講演(予定)

Adrian Barbul (Johns Hopkins) Guidelines for the treatment of wounds

◇主題(公募)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 創傷管理の進歩 | 5. 肝再生研究の進歩と臨床応用 |
| 2. 手術創感染(SSI)と創閉鎖、ドレッシング | 6. 褥瘡治療の進歩 |
| 3. 創傷の評価と治療の選択 | 7. 幹細胞・ips細胞研究と臨床応用 |
| 4. 難治性潰瘍治療の新しい展開 | |

◇日韓合同シンポジウム(指定)

◇スポンサード・シンポジウム(指定)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 消化器の創傷治療研究;最近の進歩 | 2. ストーマケアの進歩 |
|---------------------|--------------|

◇一般演題

◇学会賞・奨励賞

◇ランチョンセミナー

◇イブニングセミナー

■オンライン登録 演題申し込み期間 受付 平成21年6月中旬
締切 平成21年8月末日

■第39回事務局

〒211-8533
神奈川県川崎市中原区小杉町1-396
日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター
代表 坊 英樹、渡辺昌則
TEL 044-733-5181
FAX 044-733-5787
E-mail 39-jswh@nms.ac.jp

■運営事務局

〒112-0012
東京都文京区大塚2-15-6
ニッセイ音羽ビル1階
(株)サンプラネット
担当 田村
TEL 03-5940-2610
FAX 03-3942-6396